



## ○「新年の挨拶と3学期スタートにあたって」

保護者の皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年は、本校教育活動に深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本日より3学期が始まりました。3学期は1年間の締めくくりであるとともに、生徒たちが次なるステップへと進むための重要な準備期間でもあります。特に3年生は、卒業を控え、社会人としての第一歩を踏み出す生徒、さらなる学びの場へ進む生徒、それぞれが未来に向けた仕上げの時期を迎えています。また、1,2年生にとっても、新学年への基礎を築く大切な期間です。

さらに、1月は、商業高校生にとって、毎週検定試験が実施される勝負の月とも言えます。この3学期が充実したものになるよう、教職員一丸となって指導にあたって参りますので、保護者の皆様には引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ○3学期始業式校長講話掲載「人は見えている視野の中からしか、未来は見えない」 新年あけましておめでとうございます。

2025年のスタートを、皆さんが元気に迎えられたことを心から嬉しく思います。

皆さん、冬休み中、それぞれが家族と充実した時間を過ごし、新しい年に向けた気持ちを整えられたでしょうか。



私は、ここ数年元旦の朝早く起きて、六時頃からジョギングをするようになりました。その途中で初日の出を拝むようにしています。太陽の光が山間から徐々に光り出し、雲をオレンジ色に染めながら昇っていく姿を拝むと、今年も健康で初日の出の光を体中に浴びる幸せを感じることができました。

それから、恒例のニューイヤー駅伝の応援です。昨年3位だった旭化成が、最終7区残り500mでHondaを抜き去り、そのままゴールし、5年ぶり26回目の優勝を勝ち取りました。

たまたま、勝てたのではなく、どれだけ、この日のためにたゆまぬ努力を続けてきたのだろうか、選手1人1人その思いがどれだけ強かったのだろうか、そして、そのチームは私たちが住む延岡市で練習してきたことを誇りに思うと同時に勇気をたくさんもらいました。

2025年(令和7年)のスタートにあたり、みなさんに贈りたい言葉があります。それは、「人は見えている視野の中からしか、未来は見えない」と言うことです。

これは、どういう意味か考えてみてください。私たちは、自分の置かれた環境を通して未来を創造しています。例えば、何を勉強すればどんな仕事に就けるのか、今の生活がどう変わるのかといったことは、今自分が見えている範囲からしか考えることができません。視野が狭いままであれば、自分の可能性に気づかず、手の届く未来も見逃してしまうかもしれません。だからこそ、皆さんには「自分の視野を広げること」に挑戦して欲しいと思います。

視野を広げる方法はたくさんあります。まずは、読書です。毎朝10分間読書の時間があります。これは自分の視野を広げるための大切な時間です。是非、知らない世界を尋ねてください。また、黙学も、自分が理解できていなかった基礎学力を確認する時間です。理解が深まれば、思考も広がります。さらに、違う価値観を持つ人たちと話したり、関わったことがない分野に興味を持ったり、知らない世界の映画を見たり、自分の限界に挑戦してみるのも新たな一面を知ることになります。

全ては挑戦から始まります。2025年は、是非「自分の視野を広げる挑戦」をして欲しいと願います。私も、今年新しい挑戦をしたいと思っています。

3年生にとって、今年は、人生の新しいステージへと進む記念すべき年となります。4月から社会人として働き始める人もいれば、新しい学びの場へ進む人もいます。卒業式までの期間は、「次への始まり」に向けた貴重な時間です。卒業式の日を胸を張って、次のステージへ進む自分を思い描きながら、これからの時間を大切に「自分の視野を広げる挑戦」を続けてください。みなさんの未来は、まだまだこれからです。

2年生にとっての3学期は、3年生への準備が始まります。一日一日、「自分の視野を広げる挑戦」に向けて全力を傾けて欲しいです。自分の未来を創造するための情報をたくさん集めてください。それは与えられるのを待つのではなく、自分自身で集めて、経験してこそ視野が広がるのです。

1年生も、3学期これまでの高校生活では、挑戦できていないことに挑戦する勇気を持ってください。1月の検定試験の合格でもいいと思います。努力する全てがみなさんの可能性を広げます。



挑戦をしているとなかなか結果が出ないことが辛いですよね。実は、生物たちも試練を味わいながら成長しています。チューリップは、球根を土の中に埋めますよね。春に美しい花を咲かせるためには、極寒の寒さに耐え、準備をしなければならない。これを春化(しゅんか)といいます。この寒さという環境条件が植物の遺伝子に影響を与えるのです。人間も一緒ですよ。挑戦して、試練や努力を経験しないと人間は成長しない。チューリップに寒さが必要なように、人間にも試練が必要です。辛いときは、「私の成長には、今、試練が必要なんだ」と考えてみてください。

3学期、3年生は、宅習期間まであと17日間、1,2年生は登校できる日は41日しかありません。

一日一日が新しい発見の日々になりますように、まずは、目の前のことに全力で取り組んでください。実り多い1年となるよう祈りつつ、始業のあいさつとします。

## ○トコトン!ボーイ、トコトン!ガール みーつけた。(挑戦することを決めた生徒を紹介します)

34HR (T・Aくん) (前 生徒会長)



T・A君は生徒会長として大変貢献しました。彼は、小学生1年生から中学3年生までバレーボールの日々だったそうです。高校でも男子バレーボール部に所属したかったようですが、残念ながら男子バレーボール部はなく、かといって他の部活動に所属する勇気もなく、打ち込めるものを探していたところ、生徒会に立候補することになったのです。

生徒会長になってからは、卒業生も現役生もみんながもっと延商を好きになって欲しいと、Instagram発信や行事運営に力を注ぎました。自身の思うリーダーシップは、「みんなの声に耳を傾ける」と言うことでしたが、みんなの意見を聞きすぎて、最適解が出せなくなったことも多々あったようです。時には、父親に相談したり、生徒会のメンバーと何度も話し合い結論を出したりしました。これらの経験を通してリーダーの大変さを学ぶことができました。

現在は、大学に進学し、商業の教師になりたいと考えています。もともと、祖母が酒屋を経営しており、ビジネスや経理に興味を抱いていたのですが、尊敬する担任の池畑先生に進路を相談したところ、「私は、Tくんと一緒に仕事をしたいと思う」と言われ、自分も、池畑先生のように意志をしっかりと持ち、考えがぶれない教師になりたいと思うようになりました。

僕は延商が大好きです。全校生徒に伝えたいことは、「是非、自信と誇りをもって卒業して欲しい。部活動でも、生徒会でも夢中になれるものを見つけ挑戦して欲しい。」「僕も新たな挑戦が始まります。将来、生徒が「よくわかった。」と言ってもらえる教師を目指します。みなさんも、それぞれの目標に向けて、一步前進してください。」T・A君は、不思議な魅力あります。できないと思えたことも、できる小さな可能性を見つけ、みんなを一步前進させることができるのです。屈託のない笑顔に引き込まれるのかもしれませんが、これからも、その明るさで邁進してください。